

辺野古の現地から

沖縄

今、沖縄の辺野古では、
基地建設反対82%という沖縄県民の思いを背に
木一本、種一粒になっても終わらない
闘いがあります。

辺野古の海はボーリング調査
のためのヤグラのない美しい
姿を取り戻しています。
防衛施設局は2004年4月
19日、事実上の基地建設着工
であるボーリング調査の強行
を行いました。
辺野古のおじいおばあは基地
建設が始まったらわたったーや海に
座るどー。」という思いで、覚悟で、

この8年間と500日以上に及
ぶ座り込みを継続してきました。
海に座るとは「死んでも基地
建設を止める」という意味が込め
られています。
そしてその思いを支えてきた
心の杖が名護市民投票の「基地
建設はいらぬ」という民意です。
沖縄は1995年の少女暴行
事件を契機として「基地の全面
撤去を県民の総意として訴えて
います。その怒りが現在の世論

調査、基地建設反対82%という
結果に繋がっています。
おばあが言っていました。「森は
木一本から、種一つから再生する。
わたったー達も一緒さあ、この辺野
古に根を張って木一本でも種つ
でもここに残せたら基地建設
はわたったーの勝ちさあ」と。
私達は一人一人の思いから始
まった力です。

単管足場
リーフ内4箇所
で建てられ、
ウエ着込みの
名をの四船の
張局の作業を
止めてます。



スパット台船
スパット台船を積んだクレーン船と、その航
行を止めようと何度も前に割って入る小型船。
ついには、クレーンでスパット台船を吊り上げ、
降ろそうとしている場所に陣取り、スパット
台船を設置させなかった。



差し止め訴訟
12月27日、ボーリング調査に反対する
市民や近隣海域の海人ら68人が原告となり、
国を相手にボーリング調査の差し止めを
求める訴えを那覇地裁に起こしました。

● 辺野古につくられようとしている長さ
2500m幅300mの米軍基地は、1996
年のSACO最終報告の中で、普天間基地
を返還するための「代替基地」という名目
で建設計画が持ち上がりました。(実際は、
1966年の時点でこの計画があったこと
が明らかになっています。)
● 辺野古の阻止行動によって、日本政府が
強行的に建設した「ボーリング調査のため
の4つの単管足場(ヤグラ)は、ただの一度
も「ボーリング」を行えぬまま「台風対策」
という名目で撤去されました。
● 1996年から8年間もの間続けられて
きた見張り小屋での座り込みは、去年の
4月19日以降、新たな局面を迎えたことで、
辺野古漁港前での500日を超える座り
込みに受け継がれています。

しかし、防衛施設局は「台風
シーズン後には作業を開始する。」
と明言してきています。国は陸上
案「海上縮小案」「海上浅瀬案」
などのアドバルーンを上げて
います。基地建設を止める闘い
はこれからが正念場です。
辺野古で一緒に闘っている海人
達(漁民)は、陸上案であろうが、
海上縮小案であろうが、わたったー
の海を、山を破壊することに変わ
りはない。来るなら、来い！絶対に
基地建設はさせない」と話して
いました。
私は辺野古の座り込みが
始まった時に私自身にそして
全国の皆様に問いかけました。
「辺野古のおじい、おばあ達に
座らせ続けるのか、それとも私達
が座るのか問われているのです。」
と。私達はなおさら今、その
ことが問われているのではない
でしょうか。
基地建設を絶対にさせない
ために多くの人々の行動と力が
必要です。
基地建設はまだ白紙撤回
ではありません。

私達は全国の皆様と辺野古基地
建設を止める、希望を失わない
場での出会い、また、基地建設や
フェンスのなくなった場所でも
もう一度出会うことを切に願って
います。
基地建設は絶対に止められ
ます。そして今、それが形を作り
始めています。しかし、まだその
力が足りません。
答えを焦らず、しかし必死に
基地建設を止めるために行動
しましょう。私達が私達の手で
差別のない未来を作るために。



海人のため
辺野古の
守るべき
に東野海
人

辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動
osaka_henoko@yahoo.co.jp
http://www.geocities.jp/osakakoudou/

毎日更新される下記のサイトから辺野古の状況がわかります。
ちゅら海をまもれ! 沖縄・辺野古で座り込み中! <http://blog.livedoor.jp/kithantai555/>
ジュゴンの家 <http://www.47.tok2.com/home/dugong/>
晋くんの辺野古日記 <http://diary5.cgiboy.com/2/henokonikki/>